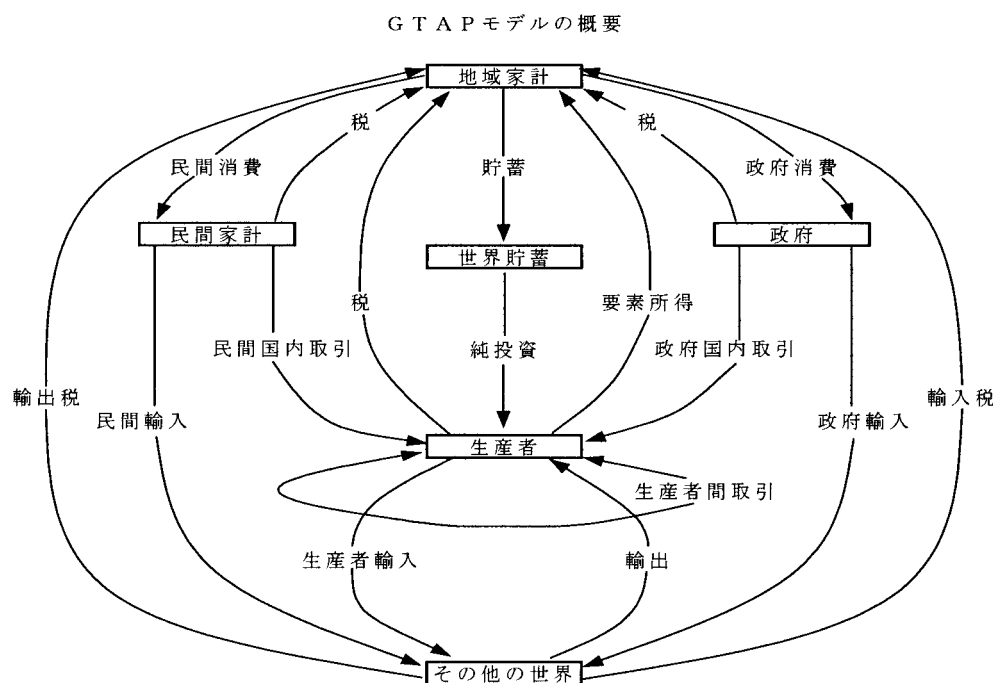


付注2-4 GTAPモデルについて

GTAPモデルは、米国パーデュ(Purdue)大学のHertel教授を中心としたグループが、国際貿易が世界各国経済に与える影響を評価する目的で、92年に設立された世界貿易分析センター(Center for Global Trade Analysis)によって開発された応用一般均衡(CGЕ)モデルである。したがって、貿易自由化といった国際的な政策変化を外生ショックとして与えることで、各国各産業間の経済相互関係を通じて、どのような効果をもたらすのか等について、国別産業別に評価することができる。GTAPでは、モデルの方程式体系に加えて、完全なデータセットが提供されており、モデルのパラメータは実証的に推計され、所得、雇用、貿易といった変数は入手可能な公式のデータから得たものである(最新の1997年データを使用)。モデルの詳細は、川崎(1999)及び、GTAPモデルのホームページ(<http://www.gtap.agecon.purdue.edu/>)を参照。



(注1) Brockmeier, M. (1996), A Graphical Exposition of The GTAP Model, *GTAP Technical Paper, No. 8*, Figure 6 より作成。

(注2) 図の矢印は、対価の支払を示す。  
今回の分析で用いた地域・財

地域分類	財分類
日本	農林水産業
アメリカ	鉱業
カナダ	食料品
オセアニア	繊維・衣服
NIES	化学・石油
ASEAN	金属
中国	輸送機械
南アジア	電気機械
中南米	その他の設備機械
EU	その他の製造業
西欧(除くEU加盟国)	電力・ガス・水道業
東欧・旧ソ連	建設業
中東・アフリカ	通信業

(備考) 1. 西欧とは、EU加盟国を除く西欧地域であり、オーストリア、スイス、フィンランド、スウェーデン等が含まれる(1997年当時)\*。  
2. その他の製造業とは、木製品、印刷・出版、皮製品、その他の製造工業品等が含まれる。  
3. その他サービス業とは、金融・保険サービス、住宅・賃貸料等が含まれる。  
\*現在では、オーストリア、フィンランド、スウェーデンはEU加盟国となっている。